

## 2018年度保護者会合同総会議事録

2018年2月23日(土)

サンフランシスコ校 幼小部カフェテリア

司会：近江

記録：ヒューバー、山添

(10:15) 開会宣言 (SF校保護者会副会長 近江真由美)

サンフランシスコ・サンノゼ校保護者会合同総会を始めさせていただきたいと思  
います。本日司会を担当致します近江と申します。それでは、まずサンフランシス  
コ・サンノゼ校保護者会を代表致しまして、サンノゼ校会長の鈴木さん、よろしく  
お願い致します。

(10:16) 1. 保護者会代表会長挨拶 (SJ校保護者会会長 鈴木雅浩)

おはようございます。代表会長は2年に一回、順番でサンフランシスコ校、サンノ  
ゼ校の会長が務めています。今回の総会の議長を務めることになります。短い時間  
ですが、よろしくお願いします。

私の方からは、簡単に一年の振り返りをしつつ、今日の保護者会総会の意義をお話  
ししたいと思えます。まず始めに、ご来場の皆様、理事会の総会に続いて、今日は  
お忙しい中有難うございます。

この総会に限らず、当番、係、それ以外のボランティアでも保護者会、補習校の運  
営に多大なるご協力をいただいている事を、改めてこの場で役員を代表して御礼申  
し上げたいと思えます。有難うございました。

個人的な話になりますが、今年度、保護者会の役員に選出されるまで、補習校のこ  
とにほとんど関知していなかった状況で、この一年、役員としてやってきました。  
改めて思うのは、この補習校というものが、本当に補習校を取り巻く皆さんの協力  
のもとに成り立っている、と言う事です。その中で、保護者というものが非常に大  
きい役割を果たしていると。紙の上では、保護者の参加型の学校です、と書いてあ

りますが、参加というよりも、柱の一つとして保護者が貢献していかないと、なかなか回っていかない大きな組織になっている、と改めて感じるようになりました。このサンフランシスコ日本語補習校は、皆様ご存知の通り、来年50周年を迎えます。この50年の全ての関係者の方の協力・貢献で、ここまでずっとバトンがつながってきた、と思っています。この一年役員を務めた我々も、次の一年にどうバトンを繋いで行けるか、を心の中に持ちながらやってきました。できる事なら、このバトンを絶やす事なく、次の10年、もしかしたら次の50年、いつかこのサンフランシスコ日本語補習校が100周年を迎える日が50年後に来たらいいな、と思いつつ、今日のこの日を迎えています。非常に限られた時間ではありますが、普段なかなかお話をする機会が無い方、お聞きする事が無いようなご意見があれば、最後、質疑応答の時間がありますので、ぜひこの先の1年、10年、50年に向けた建設的な意見交換ができましたら、大変有難いと思います。では、よろしく申し上げます。

#### (10:21) 2. 来賓紹介

松田暁博理事長

上里多一校長先生

青柳伸之事務総長

坂田富士子SF校幼小部主幹

#### (10:21) 3. 校長先生のお言葉 (上里多一校長先生)

理事総会に引き続き、保護者会合同総会という事で、一言ご挨拶を致します。保護者会の皆様には保護者参加型の学校という理念の元、本校教育活動の主旨、学校へのご理解とご協力を頂き有難うございます。お陰様で、これまで大過なく1年間過ごせたのでは無いかと思います。児童生徒の皆さんも、補習校での生活を楽しんでいる様子が保護者アンケート調査によってもはっきり出ています。

お子さんは、補習校の生活を楽しんでいるか、という質問では、幼稚部が最も高く、「学校生活を楽しんでいる」、「大変良く楽しんでいる」、「良く楽しんでいる」、を合わせると、99%になっています。学年が進行するに連れ、少しずつ数字が低く

なっておりますが、何れにしても高いパーセントで補習校の学校生活を楽しんでいるという結果が出ております。

次に、中高部入学試験についてのご報告を致します。皆さんご承知のように、中学部入試を実施致しました。在籍数増加による、教育の質の維持・向上、児童生徒の安全確保と安全の維持という事であります。高等部におきましては、推薦入学を廃止して進学希望者全員に入学試験と面接を課すことになりました。高等部で進学した者のうち、ほとんど授業についていけない生徒がいること、卒業まで頑張る強い意志があるかどうか、これらを確認のため、入学試験の一部を改訂したということでもあります。入学試験は、中高部とも筆記試験、作文試験、面接試験、全てのセット受験を終えたこととなります。これから二回の会議を経て、3月18日には結果発表として、本校ホームページ上に受験番号を掲載する予定でございます。

次に、創立50周年記念についてであります。先程要藤JCCNC教育委員長の方からお話がありましたけれど、本校は昭和43年、1968年に北カリフォルニア商工会議所の一部として、翌年の44年、1969年に商工会議所から独立致しまして、カリフォルニア州非営利団体として認可を受けております。昭和44年、1969年を創立の年としております。従いまして、今年は50歳の年を迎えるという事になるわけです。現在50周年記念行事のイベントを計画しているところであります。保護者の皆様におかれましても、児童生徒と共に、本校創立50周年を期に祝福していただきたいと思っております。

最後になりますが、本校の発展のため、今後ともご協力をお願いします。有難うございました。

#### (10:26) 4. 保護者会活動報告 ( SF校保護者会会長 御子柴直樹 )

主に3つ、重点的に取り組みと活動を行って参りました。

##### 1. イベント運営

- a. 全保護者のご協力のもと、大変スムーズにイベントを盛り上げられ、改めて感謝申し上げます。

##### 2. 学校環境の改善

- a. 中高部で、本を借りられる環境に無い、という課題があり、本を魅力的にし、新たに図書委員の配置を決定。次年度より運用・実行。更に駐車場当番マニュアルを改善し、安全対策強化。

### 3. 効率化、ファンドレイジング

- a. Tシャツのオンライン販売化。今年初めてオンライン販売に取り組み、売り上げが522枚と、去年を若干上回った。一番大きなポイントは、受注を受けてから注文としたため、在庫ゼロ。これらにより、非常に大きなコストの効率化を実現。
- b. 漢字学習ノート（後期）。保護者会が立替えし、保護者の方が個別に購入という形から学校側で一括購入し、配布する、という取り組み。
- c. 秋祭りの保護者の方の負担が非常に大きいという事で、出来るだけ可能な部分は購入し、効率化。
- d. オンラインオークション。こちらも売り上げの向上を実現。

次に、スライドの写真で見っていきます。

#### 1. クラス委員説明会

- a. クラス委員の方には、保護者の取りまとめ、係のアサイン、コミュニティ作りにも、大変大きな役割を担って頂いていると思います。運動会も、保護者のサポート無しには運営が難しく、サポートを有難うございます。

#### 2. 中高部フードセール

- a. 企業からの協賛もあり、ラーメンをその場で茹でたり、カレー、唐揚げ等、子供に大人気の食事を提供することができました。私もその場において、スタートと同時に子供達が各ブースに走っていく姿を見て、大変盛り上がっていて、嬉しく思いました。

#### 3. 秋祭り、古本市、かるた大会

- a. こちらも保護者の皆様の協力のもと、盛り上がりました。有難うございます。

#### 4. Tシャツ販売

- a. Tシャツ委員さん、デザイナーさんのご協力のもと、素敵なデザインになったと思います。素材にもかなりこだわり、ローカルの業者さんを利用し、学校の一つのミッションでもあるかと思いますが、地域の貢献にもなったかと思います。

#### 5. オンラインオークション

- a. 子供達が、地域貢献・社会貢献になるボランティアをすると、ディズニーランドの無料チケットを入手できるという制度を活用。子供達とゴミ拾いをして、それをオンラインオークションの商品としました。

以上が、サンフランシスコ校の活動報告のサマリーになります。

### (10:32) 4.1 決算見込み報告 ( SF校保護者会会長 御子柴直樹 )

#### 1. 収支

- a. \$4779ドルの黒字。イベントによる収入増と、業務改善・効率化による。収入増加分の来年度の有効活用検討の予定。検討状況は下記。
  - i. 次年度繰越金の初期投資等への有効活用。図書システム効率化による図書運営改善など。
  - ii. 収入増見込みによる予算見直しの検討。学校行事、イベントへの予算配分増、当番業務の外注など。

他にアイデアがあれば、お聞かせいただければと思います。

#### 2. 収入

- a. 約3,000ドル。Tシャツ販売、古本市、オークション等で売り上げ増。

#### 3. 支出

- a. マイナス1,600ドル。イベントファンドレイジング、業務効率化、Tシャツオンライン販売化によるもの。一部学校行事のサポートとして、コスト削減等ができたため、再配分。それにより、修了・卒業記念品費、行事支援費としては若干増しているものの合計としてはマイナス1,600ドル。

(10:35) 4.2 2019年度役員候補の紹介 ( SF校保護者会会長 御子柴直樹 )

氏名を呼び、該当者挙手。

松浦さん、大貫さん、ウォーカーさん、側島さん、高橋さん、友田さん、中原さん、古屋さん、三浦さん ( 欠席 )、ミッチェルさん、吉野さん、吉村さん、以上12名です。サンフランシスコ校からは以上です。有難うございました。

(10:36) 5. 保護者会活動報告 ( SJ校保護者会会長 鈴木雅浩 )

まず、サンノゼ校のことを簡単にお話すると、日本語補習校全体で約1700人の児童数があり、そのうち700名がサンフランシスコ校、1000人ぐらいがサンノゼ校で、3割ほどサンノゼ校が多い、というイメージです。サンフランシスコ日本語補習校は4つのキャンパスに分かれておりますが、心は一つという事で、お話を聞いていただければ、と思います。

今年の5月に、サンノゼ校の保護者会総会で、今年度の活動目標として挙げた1.2.3.の項目の一番上に、やるべき仕事として、各種イベントの企画運営がありますので、その振り返りをご報告します。

1. 保護者会業務の効率化・見直し

- a. 皆さんのご協力無しには運営が成り立たないと同時に、子供達が安全で楽しい学校生活をおくるための保護者会です。子供達の楽しさに繋がり、自分たちの中でも楽しくやるために、保護者会活動の中で見直す点があれば、積極的に見直して行こう、ということ掲げてやりました。具体的な成果は、両校、及び理事会とも話をした結果、漢字学習ノート ( 後期 ) の購入を保護者会が関与せず、学校側で回していただけるようにした事があります。

2. 役員業務のマニュアル整備

- a. サンノゼ校は恐らくサンフランシスコ校に比べると家族構成は駐在員が多く、短期間で入って出て行くご家庭が多いように思います。その結果として、図書委員・クラス委員の方は非常に数多く手が挙がりますが、なかなか役員の手が挙がり辛い、というのが特徴の一つかと思

います。そのため、数年前から役員業務のマニュアル化を歴代役員が進めてきました。保護者会役員が毎年総入れ替えになったとしても、次の役員がそのマニュアルを見る事で、大枠の仕事の流れ、やるべき事、やるべきタイミングというのをわかるように、形として伝えられるようにしました。

### 3. 役員・委員の立候補増

- a. 役員の立候補は最初の時点ではゼロでした。12名の役員候補を、システムによる選出優先順位の選出をかけ、辞退者等が出た時に、既に選ばれた方の知り合いの方に手を挙げていただいたので、結果的には一名の立候補ということになりました。サンフランシスコ校の話を知っていると、少しその辺りは違いがあるのかな、と思います。

子供達はやはり勉強を頑張っています。勉強も大事ですが、同じくらい日本の文化、日本の生活環境・システム・文化・仕組み等を、外国にしながら体験できるというのが、日本語補習校の大きな特徴であるべきですし、それが一つの目標かと思いません。

#### 1. 運動会・スポーツ大会

- a. 今年は開催日が良い天気恵まれ、気温が摂氏37度まで到達。安全面を考慮し、理事会とも話をさせていただき、来年度は開催する日程の再考をご検討いただくことになっています。

#### 2. 古本市

- a. オンラインショップ・インターネットの普及により、昔に比べると日本の本や文字に触れることというのは、やりやすくなったという一方で、今あるものを有効活用するという事で続いてきているものを、幼小部・中高部両校で開催しています。

#### 3. 秋祭り

- a. 手作りのお祭り、魚釣りの写真が出ていますが、保護者のボランティアの方が中心になってやっています。

#### 4. フードバザー

- a. 今年サンノゼ校は、理事会の決定による手作り食品の禁止という決定を受けて、大きくやり方を見直しました。前年度までは、各家庭で作ったものを持ち寄っていたのですが、今年からはそれが無くなったので非常に大きな変化がありました。

## 5. 新年行事

- a. 中高部では新年行事、幼小部では新年お楽しみ会。お正月明けに日本の伝統的な遊びの体験をします。けん玉、福笑い、羽子板等。企画した時は、今の子供はこういう事を楽しむのかな、という思いもありましたが、やってみると子供達は結構楽しんでくれました。お茶の体験、習字の体験という文化的なものも提供しています。習字、お茶に関しては、ボランティアで歴代同じ先生がやって下さっています。習字の先生はもう80歳を迎えられるため、もうお役御免、と仰るのをまた来年も、とお願いしてきているのですが、そういうところにも、補習校が積み重ねてきた歴史と同時に変化点を迎えるところもあるのかな、と来年以降の活動の中の課題の一つとしてご紹介させていただきます。

### (10:44) 5.1 決算見込み報告 ( SJ校保護者会会長 鈴木雅浩 )

#### 1. 収支

- a. 目標通り年度内トントンに着地予定。

#### 2. 収入は3,332ドル増

- a. 一番上の保護者会会費は、生徒数増加により伸び率が7パーセント、金額でいうと約3,000ドルの伸び。各種イベント収入が伸びているように見えるのは、フードバザーの大きな変化の中、イベントを成立させるために、売り上げ単価を前年よりも高く設定。その分、結果的には売り上げ増となりました。

#### 3. 支出

- a. 先程お話をした3,300ドルの増収分を年度内の支出として計上する予定です。
  - i. クラス費は大きく変化は無し。



- ii. 学校行事サポート費用で1,773ドル多く使用。内訳は、卒業式での1,850ドルの生花のコサージュ支給。当初は予算の確保が可能か不明であり、更に卒業生と在校生の費用支出の比率が公平か、という検討も行い、一旦支給しないこととしたものの、予算確保も可能となり、一般の保護者の方から意見を頂戴した事もあって、結果的には支給することとなりました。
- iii. 図書関係費用2,026ドル増は意思をもって当初予算より大きく計上しています。運営費で1,600ドル程度のコスト削減ができた事もあり、図書購入費用を500ドル増加。備品購入・更新費用として、年度末の予算として新たに1,500ドルを計上し、様々な備品や保護者の持ち出しで使用している物等を新規購入し、子供達がより楽しく本に触れる事ができる環境を作る、という事で計画しています。

(10:50) 5.2 2019年度役員候補の紹介 ( SJ校保護者会会長 鈴木雅浩 )

承認事項になりますので、後ほど採決を取ります。19年度サンノゼ校の役員候補の方12名、お名前をここに書いております。我々18年度の役員も、来年19年度役員の皆さんのサポートとして、引き続き力になっていければ、と思っています。ぜひこちらにいらっしゃる保護者の皆さんと一緒に、補習校、保護者会、ひいては子供達の笑顔のために自分達のできることを少しずつ皆で持ち寄って協力して、また新しく一年を送れたらいいなと思っています。私からは以上です。有難うございました。

(10:50) 6. 定足数の報告 ( SF校保護者会副会長 近江真由美 )

この総会は、全保護者の方の3分の1の出席・委任状を以って成立します。本日は委任状と、出席者の方々の合計が759となり、定足数の400を超えましたので、この総会が成立致しましたことを報告させていただきます。

(10:51) 7. 議案の報告 ( SF校保護者会副会長 近江真由美 )

規定に基づき、保護者からの議案を募集致しましたが、今年は保護者の方々からの議案の提案はございませんでした。その結果、この保護者会総会での議案は、19年度の保護者会役員承認になります。議案については、皆さんの承認を頂きますが、その採決に移る前に、新役員承認を含めて保護者間での意見交換を行う時間を持ちたいと思っております。

(10:52) 8. 質疑応答

なし

(10:54) 9. 採決 (SF校保護者会副会長 近江真由美)

承認

(10:55) 10. 閉会宣言 (SF校保護者会副会長 近江真由美)

以上が、今日のプログラムでした。以上をもちまして、今日の総会を閉会させていただきます。皆さまご出席有難うございました。